

令和7年3月21日

府中市長 高野 律雄 様

府中市環境審議会
会 長 澤 佳成

第3次府中市環境基本計画の進捗管理について（答申）

令和6年10月10日付、6府生環第204号で諮問のあったことについて、当審議会の意見は別紙のとおりです。

1 諮問事項

第3次府中市環境基本計画の環境像「地域から地球へ みんなで創る持続可能なまち 府中」を実現するため、目標として掲げている次の基本方針を総合的かつ計画的に推進していくための進捗管理について

- 基本方針1 脱炭素型のまちを目指します
- 基本方針2 人と自然が調和して豊かな恵みが得られるまちを目指します
- 基本方針3 循環型のまちを目指します
- 基本方針4 安全・安心・快適に暮らせる文化的なまちを目指します
- 基本方針5 協働・連携のための環境が整ったまちを目指します

2 答申

2023年度から2030年度を計画期間とする第3次府中市環境基本計画について、計画の初年度である2023年度の各方針の進捗状況について確認いたしました。基本方針ごとに定めている成果指標の評価結果及び外部要因をもとに、各方針の総合評価を行いました。結果につきましては、次のとおりです。

- 基本方針1 「やや遅れが生じているが概ね順調に進捗している」
- 基本方針2 「目標どおりに順調に進捗している」
- 基本方針3 「目標どおりに順調に進捗している」

基本方針 4 「やや遅れが生じているが概ね順調に進捗している」

基本方針 1 は、最新の数値である 2021 年度までの削減実績を元に評価しています。

基本方針 4 において、騒音に関して市レベルでの解決が困難であるため、国及び都に対して引き続き情報の提供を行う必要がある。

基本方針 5 は分野横断的な取組であり、基本方針 1 ～ 4 を推進するものであるため、総合評価の対象に含めておりません。

上記の結果から、本審議会では、全体として概ね順調に進捗していると判断いたしました。まちなみや景観がよく保全されていると感じている市民の割合は目標以上の結果となっており、市民 1 人 1 日当たりの燃やすごみ排出量についても、目標どおり順調に進捗しています。また、温室効果ガスの排出量については、目標には届いておりませんが、2013 年度と比較すると減少傾向にあります。

一方で、水質、大気、騒音・振動の環境基準適合率や市内のエネルギー消費量など、目標値に達していない指標も見受けられます。

市内の環境測定及びエコハウス設備設置費助成事業、域内の再エネ導入・省エネの推進等の継続実施を目標値の達成に向けて取り組んでいくことを求めます。

また、生物多様性の保全については、取組が進められていますが、市街化の進行や農地の減少などの生物多様性の低下が懸念される課題に直面しています。このことから、生き物を育む多様な空間の保全と創出を行うとともに、市内に生育・生息する生き物の現状について、今後も注視し、実効性のある取組を実施していくことが必要と考えます。

今後も、施策の進捗状況や社会情勢の大きな変化等を踏まえながら、適宜、目標及び施策の強化などの見直しを行い、継続的な PDCA サイクルを実施していくことで、本計画を実行性のあるものとしていくことを要望します。そして、第 3 次府中市環境基本計画の環境像「地域から地球へ みんなで創る 持続可能なまち 府中」を実現するため、この答申が、府中市の環境施策のさらなる推進に資することを期待します。